

平成 29 年度第 2 回自治体等 FM 連絡会議千葉県地域会開催報告

千葉県地域会代表幹事 千葉県流山市総務部財産活用課
ファシリティマネジメント推進室

去る平成 30 年 1 月 26 日に成田市赤坂ふれあいセンター大会議室において、平成 29 年度第 2 回自治体等 FM 連絡会議千葉県地域会をこれまでと同様、千葉県公共建築等連絡協議会 FM 研究部会との共催により開催しました。

当日は、千葉県内 26 自治体他から 66 名の方に参加いただきました。

今回は「多摩地域における FM の取組み」をテーマに、「多摩地域における FM の取組み ~ 小平市の事例を含む ~」を小平市の飯島健一様に、「噂の東京マガジンで紹介された武蔵境駅北口市有地有効活用事業(PPP バーベキュー)」を武蔵野市の尾身 裕太郎様に、「武蔵野市における計画的施設整備」を武蔵野市の根上 修一様に、「立川市の FM の事例」を細田 悠介様に、「国立市が実践する保全と FM ~ できることと取捨選択 ~」を小宮 智典様にご講演いただきました。

多摩地域の自治体様とは、様々な機会に情報交換や連携させていただくことがあり、千葉県地域会にもここ最近では毎回のように数自治体参加いただいています。今回の多摩地域自治体からの豪華な FM 講演・講師陣につきましても、各地域会の親会である自治体等 FM 連絡会議において、今年度まで代表幹事を務められていた小平市様の一声から実現したものであり、この場を借りまして改めてお礼申し上げます。ありがとうございました。

まず初めに小平市様からは、多摩地域会のこと及び小平市の事例も含め、広域連携についてお話しいただき、また FM の総論的な部分についても触れてお話しいただきました。「できる」か「できない」かではなく、「やる」か「やらない」かであること、実行することが大事だが、一方でやらない(やめる、年間はやらない等)という判断も大事である、という FM 推進にかかせない考え方を伝えていただき、今回の多摩地域 FM 講演の先陣を切っていただきました。

次に、全国的にも FM の先進自治体である今年度日本ファシリティマネジメント大賞を受賞された武蔵野市様からは、2 本立ての 1 つ目として、PPP 事例である噂の東京マガジンで話題となった武蔵境駅北口市有地有効活用事業について、その概要・経緯及び本事業に対する否定的な意見の部分や今後の課題等、良悪両面からお話しいただき、2 つ目として、以前から先進的に実施している計画保全についての最新状況をお話しいただきました。

立川市様からは、学校施設複合化(小学校、公民館、図書館、学童)と旧市役所の転用(子ども未来センターと市民会館の複合施設、立川まんがパーク等)の事例を中心に、概要や課題、FM の観点ではマイナスとなっている部分までも含めて、ざっくばらんにお話

しいたきました。

最後に、今年度7月の自治体等FM連絡会議でもご講演いただいた国立市様より、劣化診断実施から残存耐用年数を示した保全計画の策定及び優先度を付けての建替え・修繕計画の策定や、小規模自治体ながら実現に向けて工夫を凝らしている包括施設管理業務委託、職員・地元業者・市民を巻き込んでの修繕実地研修や自前修繕等、計画を策定するだけでなく、出来るところから着実に進めているFMをお話しいたきました。

多摩地域FMのこれだけ多岐に渡った先進事例をまとめて聴くことが出来る機会の中々ないため、前回に引き続き今回もまた大変貴重な回だったかと思います。

今年度は、県外も含めて昨年度以上に多くの方々にご参加いただき、ありがとうございました。また、ご協力いただきました講師の方々にも御礼申し上げます。また来年度もよろしくお願いいいたします。

次回の平成30年度第1回千葉県地域会については、平成30年7月20日に開催予定(会場：習志野市(予定))となりますので、今までと同様、県内はもちろん、千葉県以外の方々も是非お越しください。



